

Pioneer Dj

rekordboxTM

PERFORMANCE モードの CDJ/XDJ/DJM 接続ガイド

 **rekordbox**

1 接続ガイド

本ガイドでは rekordbox の PERFORMANCE モードを CDJ/XDJ でコントロールする手順、オーディオ出力するための手順を説明します。また、DJM をオーディオインターフェースとしてオーディオ出力するための手順も説明します。

1.1 対応機種

1.1.1 対応している CDJ/XDJ

対応している CDJ/XDJ は以下になります。

- CDJ-2000NXS
- CDJ-2000
- CDJ-900NXS
- CDJ-900
- CDJ-850
- CDJ-350
- XDJ-1000

最新の対応機種情報はこちら (<https://rekordbox.com/ja/support/link.php>) をご覧ください。

1.1.2 オーディオインターフェースとして使用可能な DJM

以下の DJM は USB 接続をする事で、オーディオインターフェースとして使用可能です。ただし、DJM から rekordbox をコントロールすることはできません。

- DJM-2000NXS
- DJM-2000
- DJM-900NXS
- DJM-900SRT
- DJM-850
- DJM-750
- DJM-4000

1.2 CDJ/XDJ/DJM 接続前の準備

CDJ/XDJ/DJM と接続する前に必要な内容を説明します。

■ Windows をお使いの場合の準備

CDJ/XDJ/DJM と接続する前に CDJ/XDJ/DJM のドライバをインストールする必要があります。また、お使いの CDJ/XDJ/DJM を最新のファームウェアにアップデートする事を推奨します。ファームウェアが古い場合、正しく動作しない可能性があります。

■ Mac OS をお使いの場合の準備

Mac OS 標準のドライバーソフトウェアを使用しますので、CDJ/XDJ のドライバーソフトウェアのインストールは必要ありません。

DJM と USB 接続をする場合（オーディオデバイスを DJM にしてお使いになる場合）は、DJM のドライバをインストールする必要があります。

DJM と USB 接続をしない場合は、複数の CDJ/XDJ へオーディオ出力するために必要な「機器セット」を自動的に作成するツール「CDJ/XDJ Aggregator」をダウンロード（※）しておく必要があります。

- ※ CDJ/XDJ Aggregator はサポートページのソフトウェア & ファームウェア更新情報ページにアクセスし、プレーヤー各機種からダウンロードできます。

<http://www.pioneerdj.com/ja-jp/support/software/>

CDJ/XDJ Aggregator は CDJ/XDJ シリーズで共通です。1つダウンロードすれば他の機種で

CDJ/XDJ Aggregator をダウンロードする必要はありません。

また、お使いの CDJ/XDJ/DJM を最新のファームウェアにアップデートする事を推奨します。ファームウェアが古い場合、正しく動作しない可能性があります。

1.2.2 ファームウェアのアップデート

- 1 ソフトウェア & ファームウェア更新情報 (<https://www.pioneerdj.com/ja-jp/support/software>) から、お使いの機器のファームウェアと、指示書をダウンロードします。
- 2 指示書に記載された手順に沿って、お使いの機器のファームウェアをアップデートします。

1.2.3 ドライバのインストール

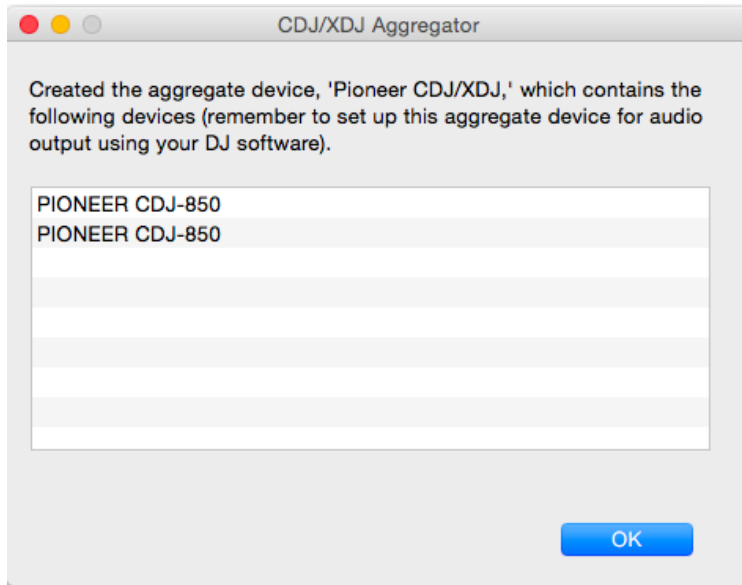
- 1 お使いの機器 (CDJ/XDJ/DJM) をコンピューターに接続する前に、ドライバをインストールする必要があります。コンピューターに機器が繋がっている場合、接続を外してください。
- 2 ソフトウェア & ファームウェア 更新情報 (<https://www.pioneerdj.com/ja-jp/support/software>) から、お使いの機器のドライバと、指示書をダウンロードします。
- 3 指示書に記載された手順に沿って、お使いの機器のドライバをインストールします。

1.2.4 CDJ-2000/900 の HID 接続モード設定

CDJ-2000/900 では CDJ の HID 接続モードを [ADVANCED] に設定する必要があります。
CDJ の MENU ボタンを長押しして UTILITY を開き、HID SETTING を [ADVANCED] に設定してください。

1.2.5 (Mac のみ) CDJ/XDJ Aggregator を使用した機器セット作成

(DJM をオーディオデバイスとしてお使いになる場合、この手順は不要です)
(前回 CDJ/XDJ Aggregator を起動した時と同じ機器をお使いになる場合、この手順は不要です)
CDJ/XDJ と接続後、CDJ/XDJ Aggregator を起動すると、下記のような画面が表示され、機器セットが作成されるので OK をクリックして閉じます。
CDJ-350, CDJ-850 をお使いの場合、CDJ/XDJ Aggregator を起動する前に CDJ の PC ボタンを押して PC 接続モードにしておく必要があります。



USB 接続の条件によっては、正常に機器セットが作成できない、または、作成した機器セットから正常に再生できない場合があります。これは、CDJ/XDJを接続している Mac の USB バスや、USB ハブの帯域などの問題によるものです。CDJ/XDJ Aggregator をお使いにならず、Mac OS 付属の Audio MIDI 設定で機器セットを作っても同じ結果になります。


CDJ/XDJ を接続する USB ポートの位置や USB ハブを変更することで、帯域などの原因が解消され、問題が解決する場合があります。

1.3 CDJ/XDJ 接続手順



- 1 全ての CDJ/XDJ と PC/Mac を USB ケーブルで接続します。
- 2 rekordbox を起動し、PERFORMANCE モードにします。
- 3 CDJ/XDJ の LINK ボタン (CDJ-350, 850 の場合は PC ボタン) を押します
CDJ/XDJ の画面に CONNECTED と表示されます。LINK に対応した CDJ や XDJ をお使いの場合、LINK ボタンを押した時に別の機器の USB デバイスや SD カードの内容が表示される場合があります。この場合は CDJ/XDJ の BACK ボタンを押してください。
- 4 CDJ/XDJ のブラウザロータリーエンコーダーを回すとその CDJ/XDJ と対応付ける DECK 番号を選択できるので、ブラウザロータリーエンコーダーを押して対応付ける DECK 番号を決定します。
- 5 全ての CDJ/XDJ に対し 4 の手順を行い、DECK のアサインを完了します

以上でコントロール設定が完了です。CDJ/XDJ から rekordbox をコントロール可能になります。次に rekordbox から CDJ/XDJ オーディオ出力するための設定を行います。

- 6 rekordbox の画面右上の歯車アイコン  をクリックして、[環境設定]を開きます。
- 7 オーディオアイコンをクリックし、オーディオ設定画面を開きます。



- 8 [オーディオ]から、Windows の場合は[Pioneer CDJXDJ ASIO]、Mac の場合は[Pioneer CDJ/XDJ]を選択します。これらの項目が表示されない場合、ドライバの再インストール、CDJ/XDJ Aggregator の起動を再度試してください。



- 9 [ミキサーモード]を[エクスターナル]に設定します。




- 10 [出力チャンネル]の設定を確認します。実際に CDJ/XDJ から出る音を確認しながら、各 CDJ/XDJ からアサインした DECK の音が出るように設定を変更します。

以上で CDJ/XDJ との設定は完了です。

1.4 DJM 接続手順



DJM をオーディオインターフェースとして使う場合の手順を説明します。画像では、DJM-900NXS を繋ぐ場合を例として説明します。1.2.3 ドライバのインストールの手順に従い、予めドライバをインストールしておく必要があります。

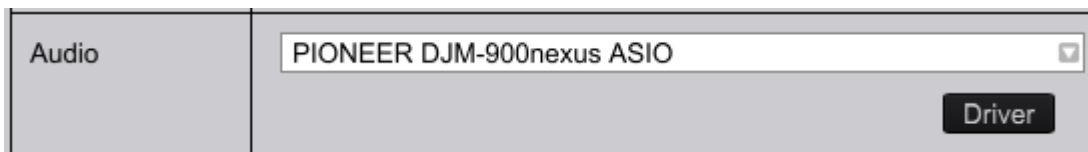
- 1 DJM と PC/Mac を USB ケーブルで接続します
- 2 rekordbox を起動し、PERFORMANCE モードにします。
- 3 rekordbox の画面右上の歯車アイコン  をクリックして、[環境設定]を開きます。
- 4 オーディオアイコンをクリックし、オーディオ設定画面を開きます。



- 5 [オーディオ]から、接続した DJM の機種名を選択します。

(画像は Windows の場合の表記名です。Mac では[PIONEER DJM-900nexus]と表示されます。)

該当する項目が見つからない場合は、再度ドライバのインストールを行ってください。



- 6 [ミキサーモード]を[エクスターナル]に設定します。

Mixer Mode	<input type="radio"/> Internal	<input checked="" type="radio"/> External
------------	--------------------------------	---

- 7 [出力チャンネル]の設定を確認します。実際に rekordbox の DECK を再生し、DJM から出る音を確認しながら、必要に応じてオーディオの DECK の音が出るように設定を変更します。

(画像は Windows の場合の表記名です)

Output channels	Output Deck1
	L DJM-900nexus OUT 3
	R DJM-900nexus OUT 4
	Output Deck2
L DJM-900nexus OUT 5	
R DJM-900nexus OUT 6	

以上で DJM との接続手順は完了です。